

静岡県立美術館コレクション展

美術でつづる10の物語

主催：静岡県立美術館

会期：2005年3月19日(土)～4月12日(火)

観覧料：一般・大学生 300円(200円)

小・中・高生 無料

※()内は20名以上の団体料金及び前売料金

静岡県立美術館には、すでに2000点を超える作品が収蔵されているが、それらの提示し得る多様な側面を、十分にご紹介しているとは必ずしもいいがたい。本展ではこれらの収蔵作品を、10の切り口からご覧いただくオムニバス形式の展覧会でご紹介した。学芸員は各企画を一人一つ担当し、小規模ではあってもフレッシュなそれぞれの企画から、大規模な展覧会からでは掴みにくい当館コレクションの持つ多彩な局面をご覧いただいた。

1：「お宝徹底捜査線」(第1室)

当館の日本絵画の詳細な作品調査の結果を分かりやすくご紹介した。

担当者：山下善也(主任学芸員)

2：「細部から見る日本画」(第1室)

当館の日本絵画の細密描写を、パネル等を交えてご覧いただいた。

担当者：飯田 真(主任学芸員)

3：「静岡県立美術館動物図集成」(第2室)

東西の収蔵作品の内、動物図を集めた。

担当者：新田建史(学芸員)

4：「“大きな”日本画」(第3室)

迫力ある大画面の日本画をご紹介した。

担当者：森 充代(学芸員)

5：「超越する感性」(第4室)

美術作品の不可思議さに迫った。

担当者：泰井 良(学芸員)

6：「小品でたどる、ヨーロッパ・小さな旅」(第5室)

当館所蔵の西洋絵画でヨーロッパ巡りをお楽しみいただいた。

担当者：南 美幸(主任学芸員)

7：「彫るドキュメント」(第5室)

当館所蔵の文明開花期の木版画をご紹介した。

担当者：村上 敬(学芸員)

8：「静岡県美かわいいものコレクション」(第6室)

収蔵作品の中から、かわいらしいイメージを集めた。

担当者：川谷承子(学芸員)

9：「変貌する羊飼いのイメージ」(第6室)

西欧美術の羊飼いのイメージを辿った。

担当者：小針由紀隆(学芸課長)

10：「座る風景」(企画展示室ラウンジ及び企画展示室入り口)

彫刻作品と向かい合って座っていただき、親密な時間を愉しんでいただいた。

担当者：堀切正人(学芸員)



▲ ポスター

■関連事業

学芸員によるリレー・フロア・レクチャー

3月20日(日)、4月2日(土)、3日(日)

展示室にて各日14:00～15:00

■出品目録

p.84参照